



姉妹は

山奥の
廃屋にて

アマミツ9



ちよっと
お姉ちゃん〜!!

待ってよ〜!!

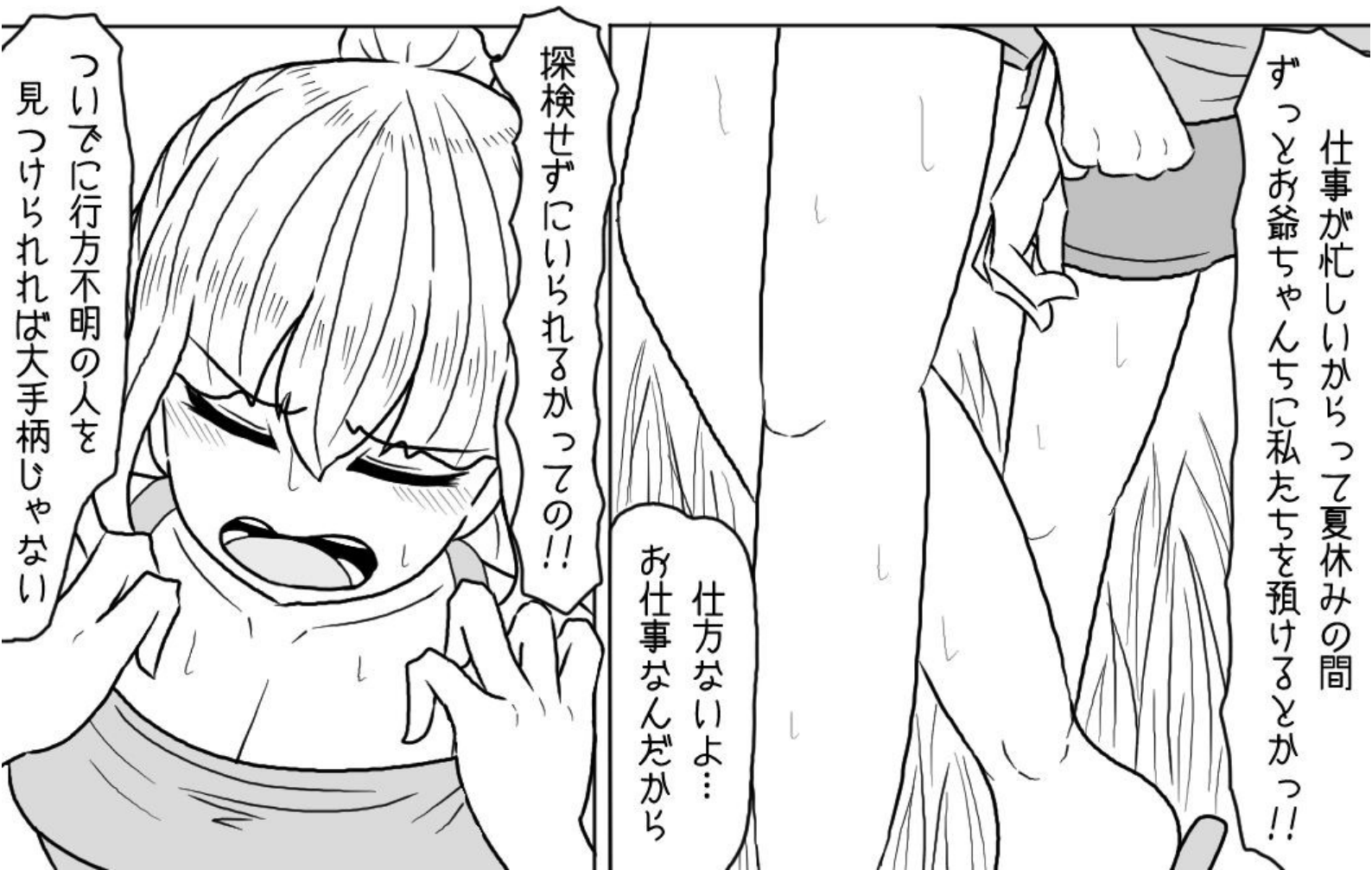


ねえやめようよ!! お爺ちゃんも
山は危ないって言ってたじゃない!!

昨日行方不明の人も出たって!!

バカ!!

あんたも毎日田舎は退屈だって
言ってたじゃない!!



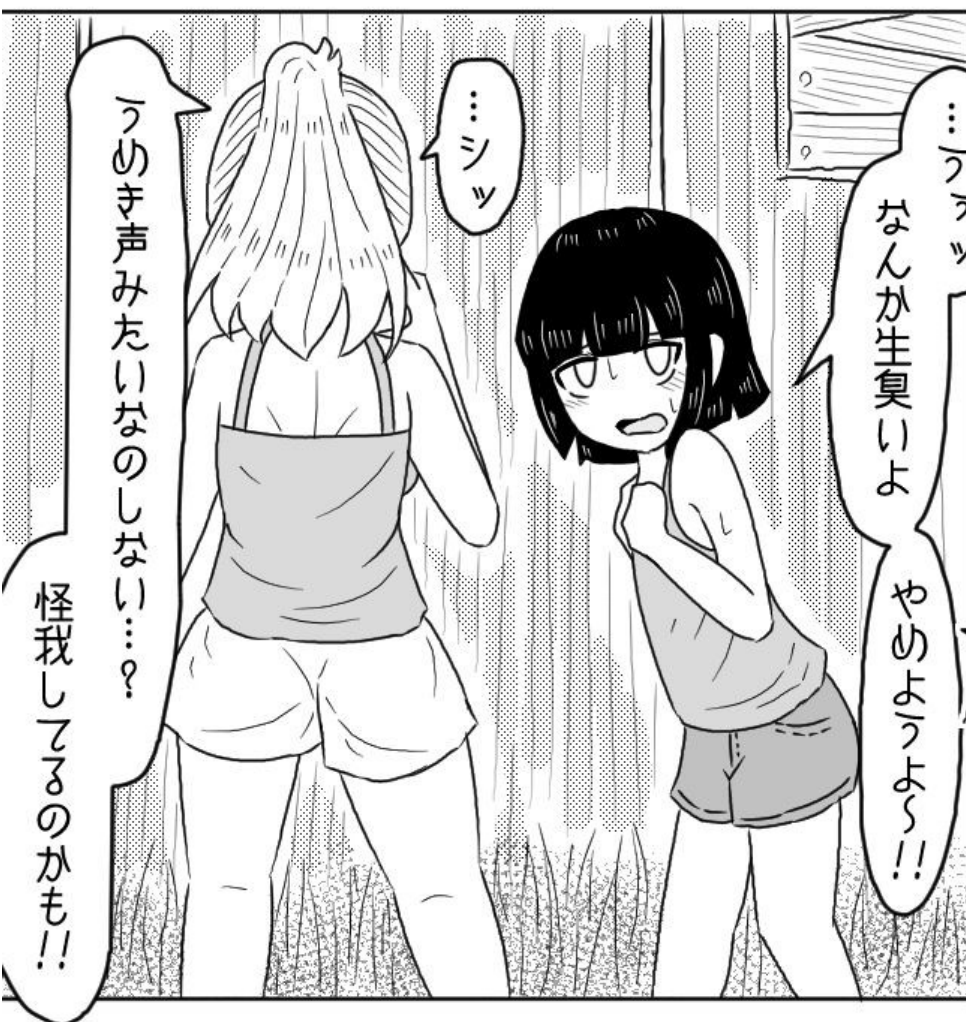
仕事が大変だからって夏休みの間
ずっとお爺ちゃんちに私たちを預けるとかっ!!

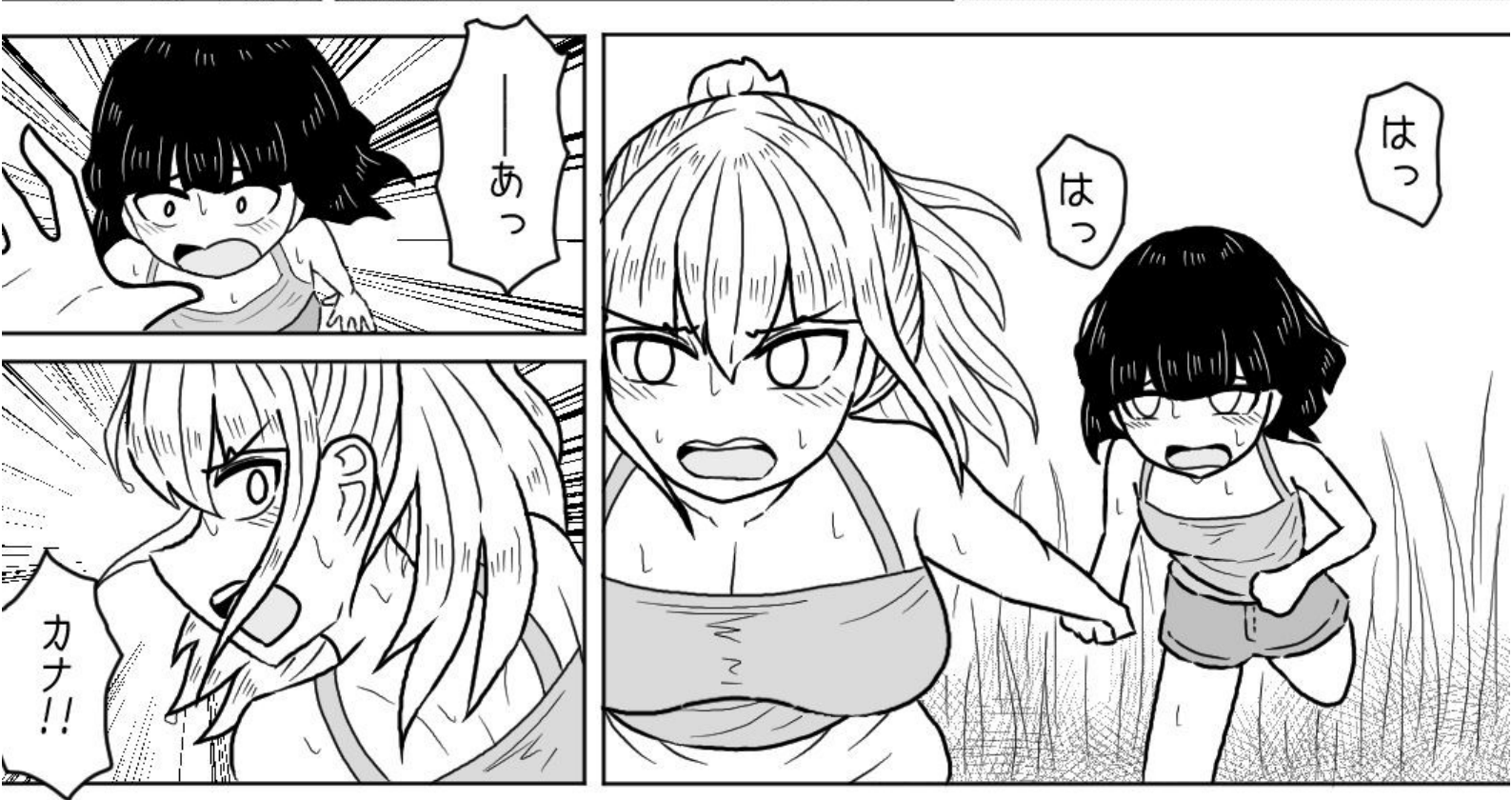
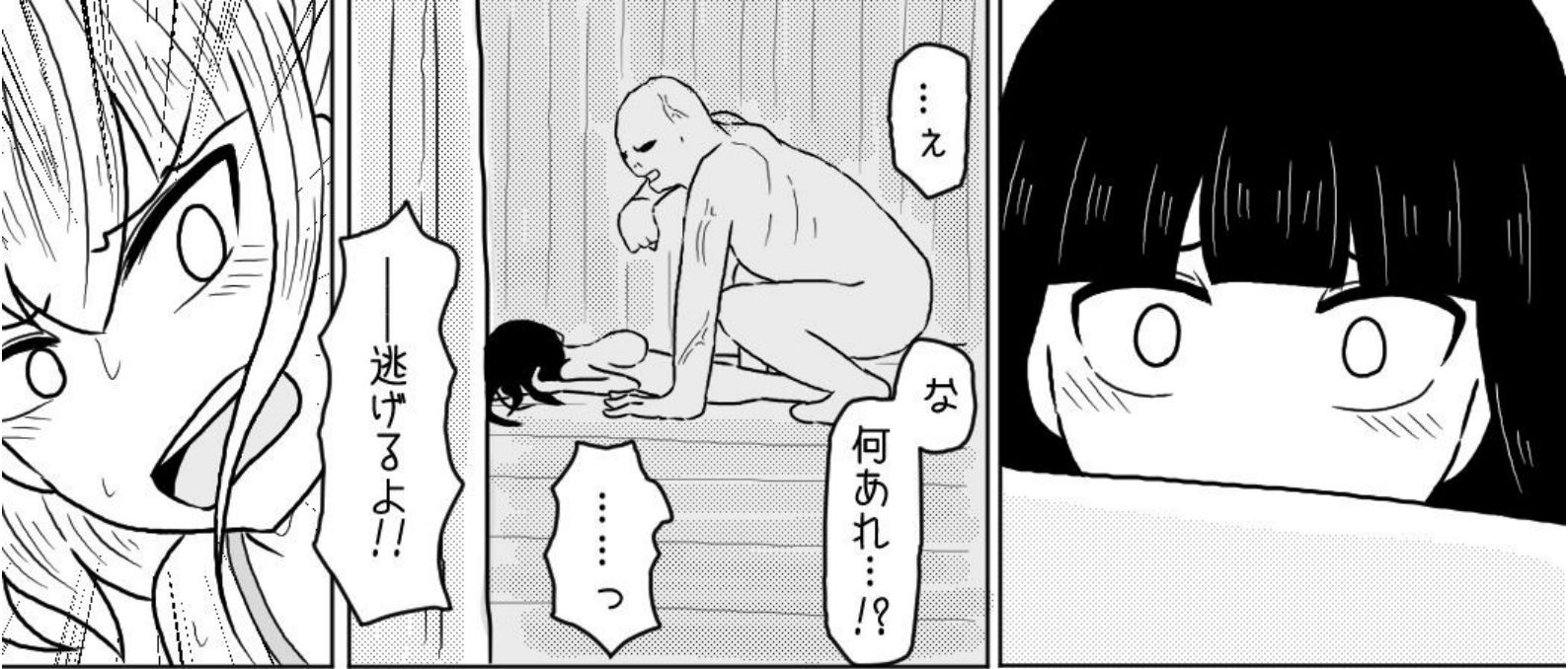
仕方ないよ…
お仕事なんだから

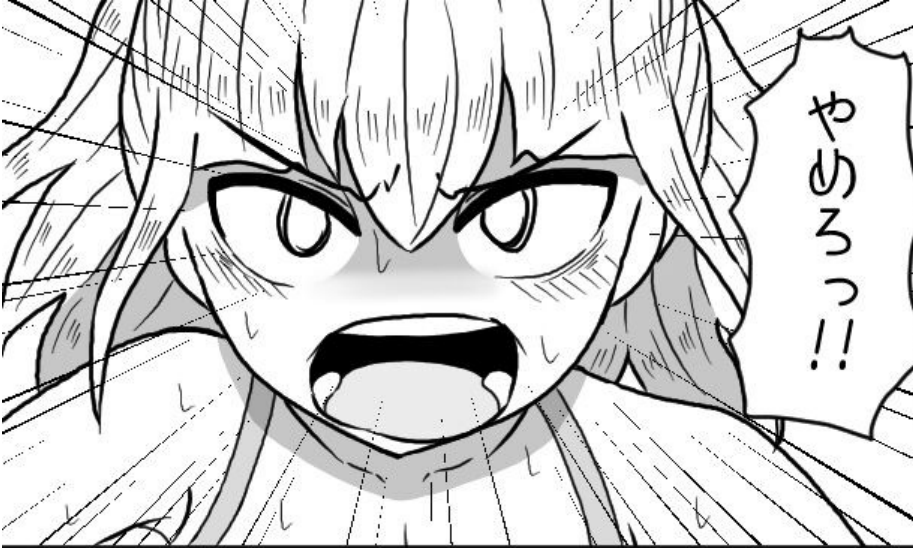
探検せずにいられたらよかったの!!

ついでに行方不明の人を

見つけられれば大手柄じゃない







やめろっ!!



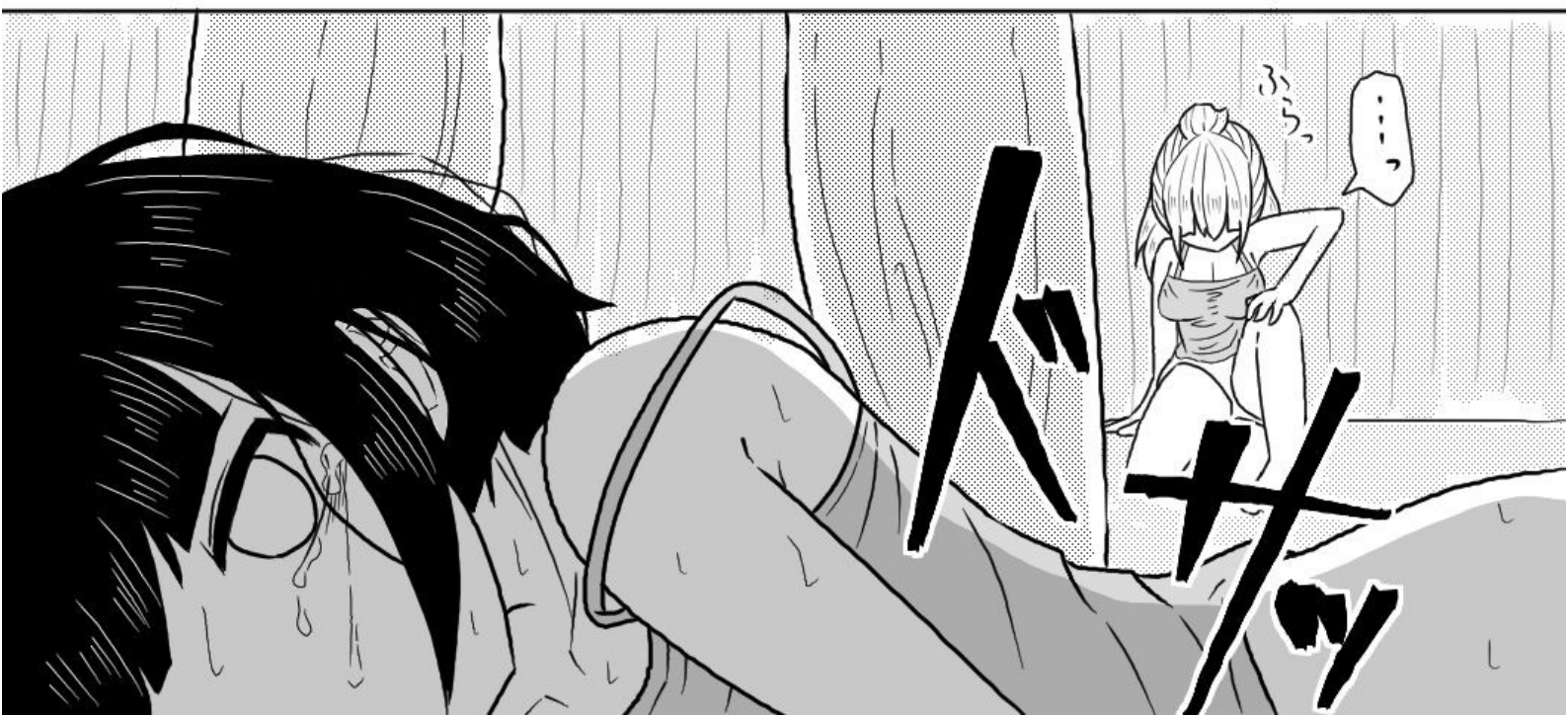
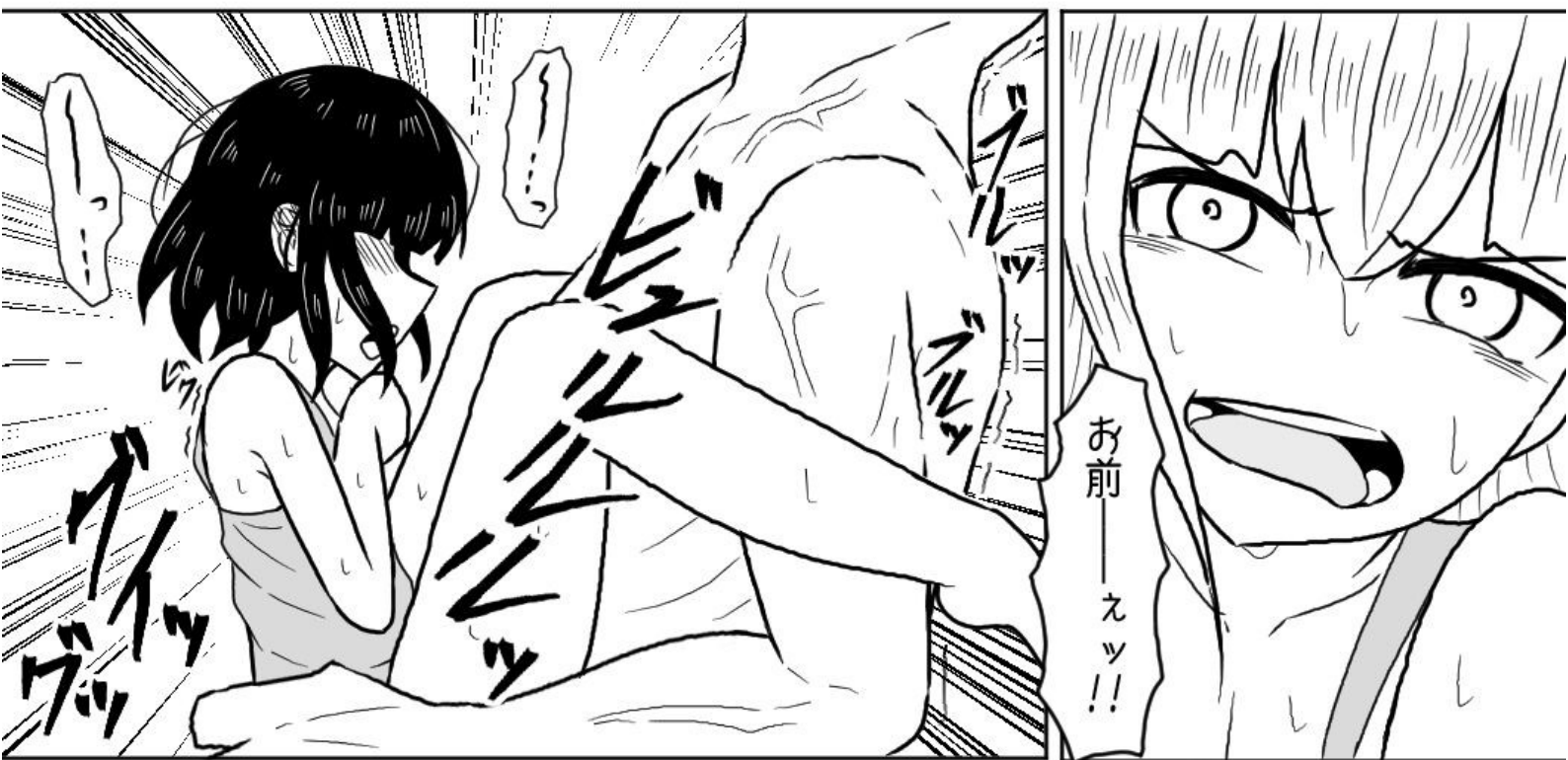
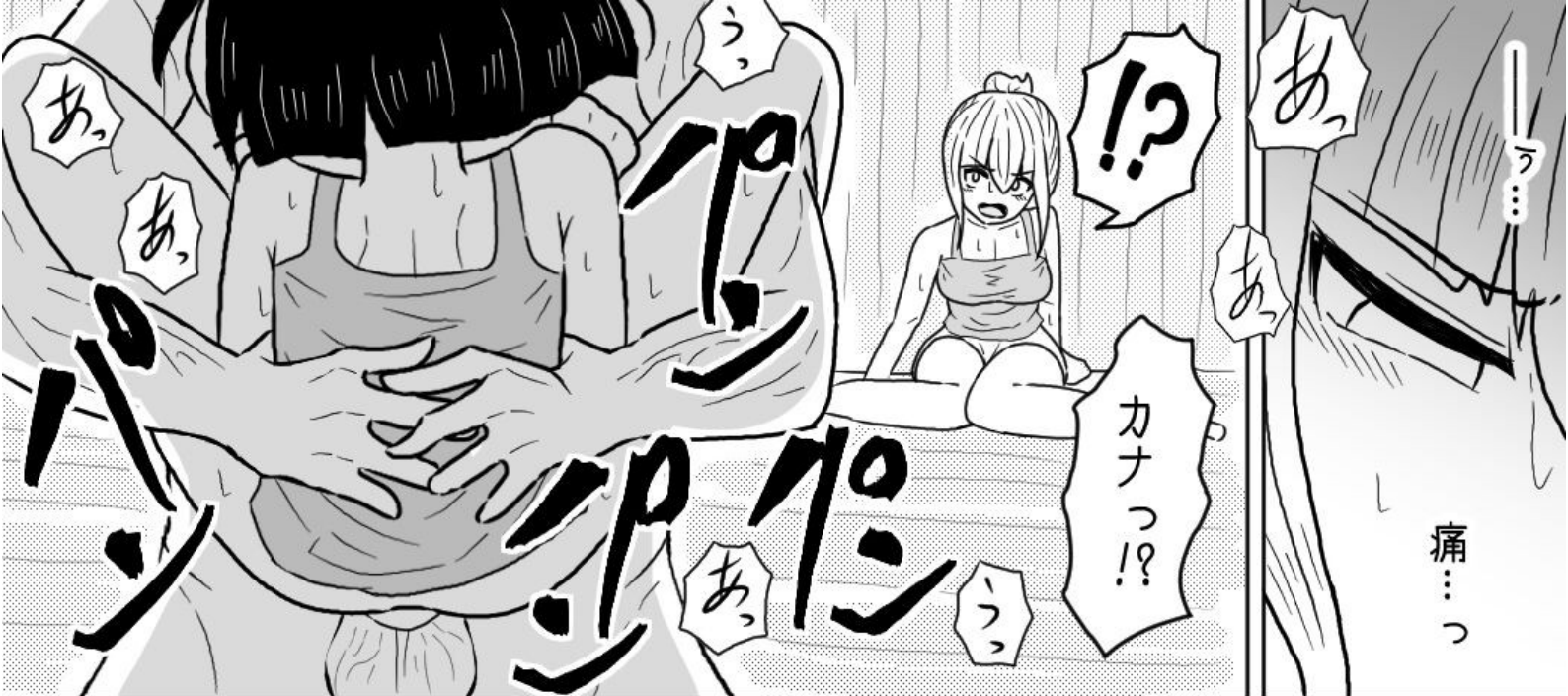
…っ!!

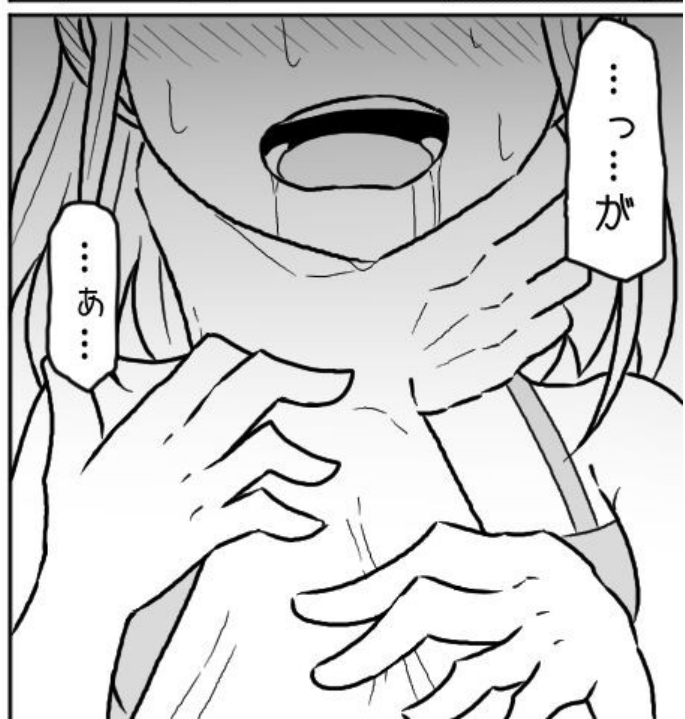
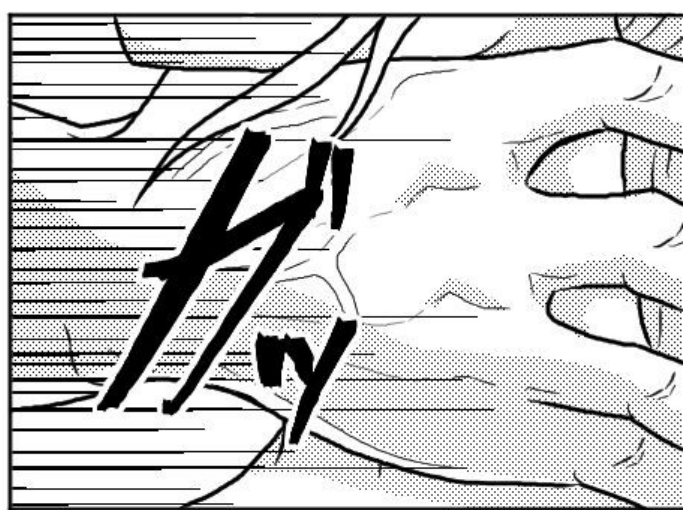


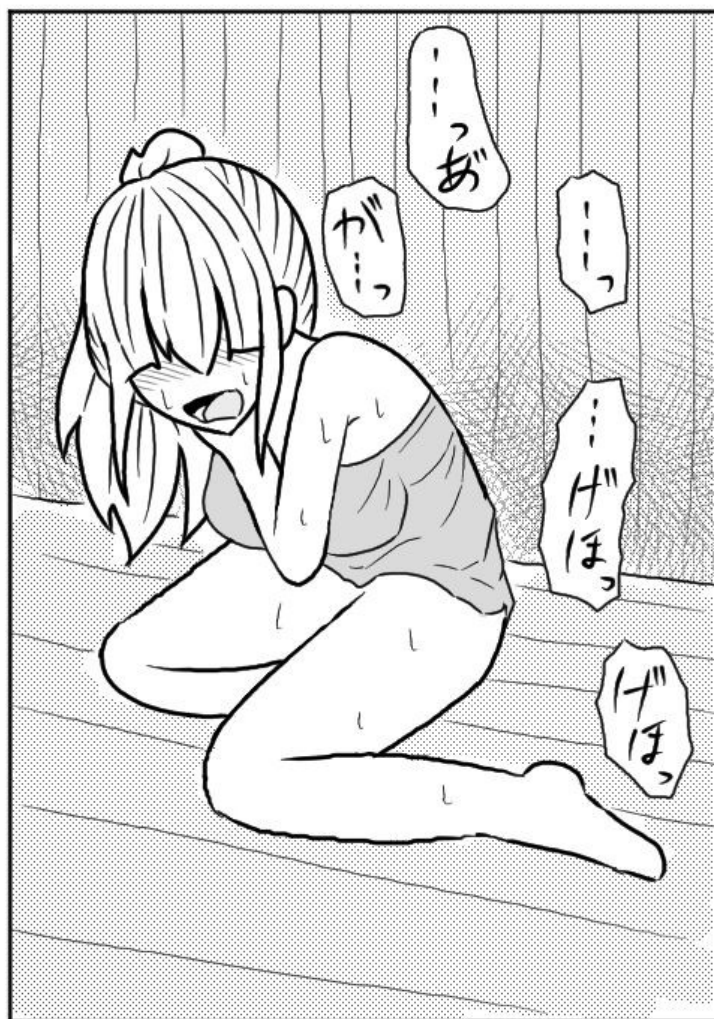
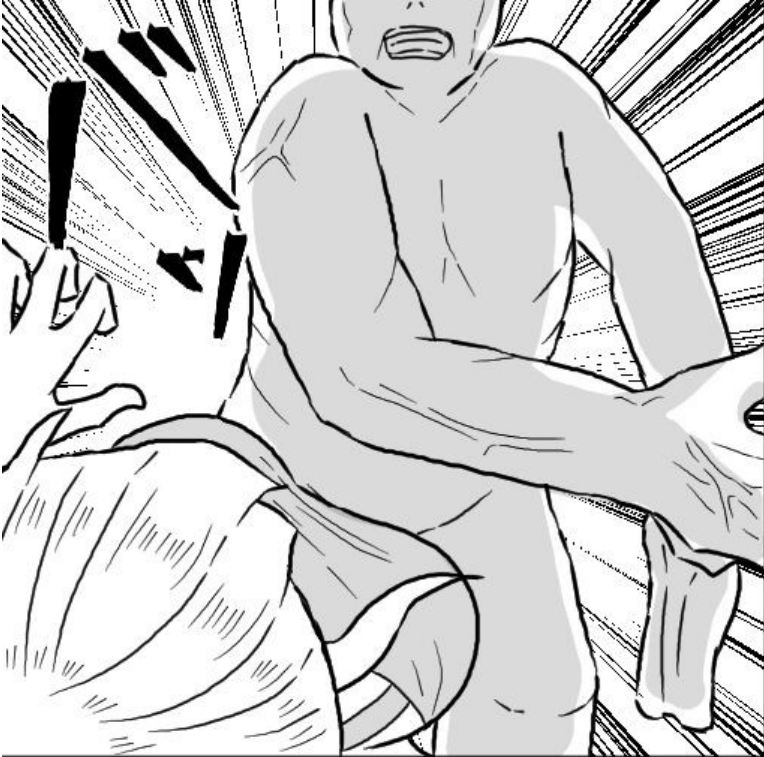
—あ

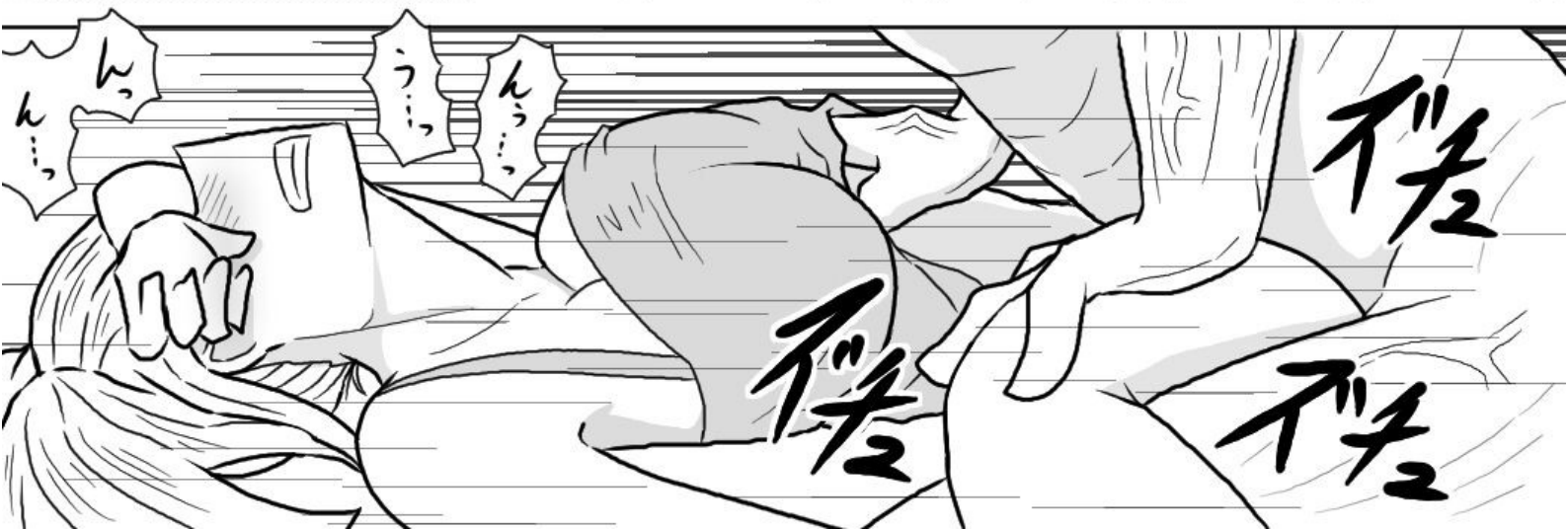
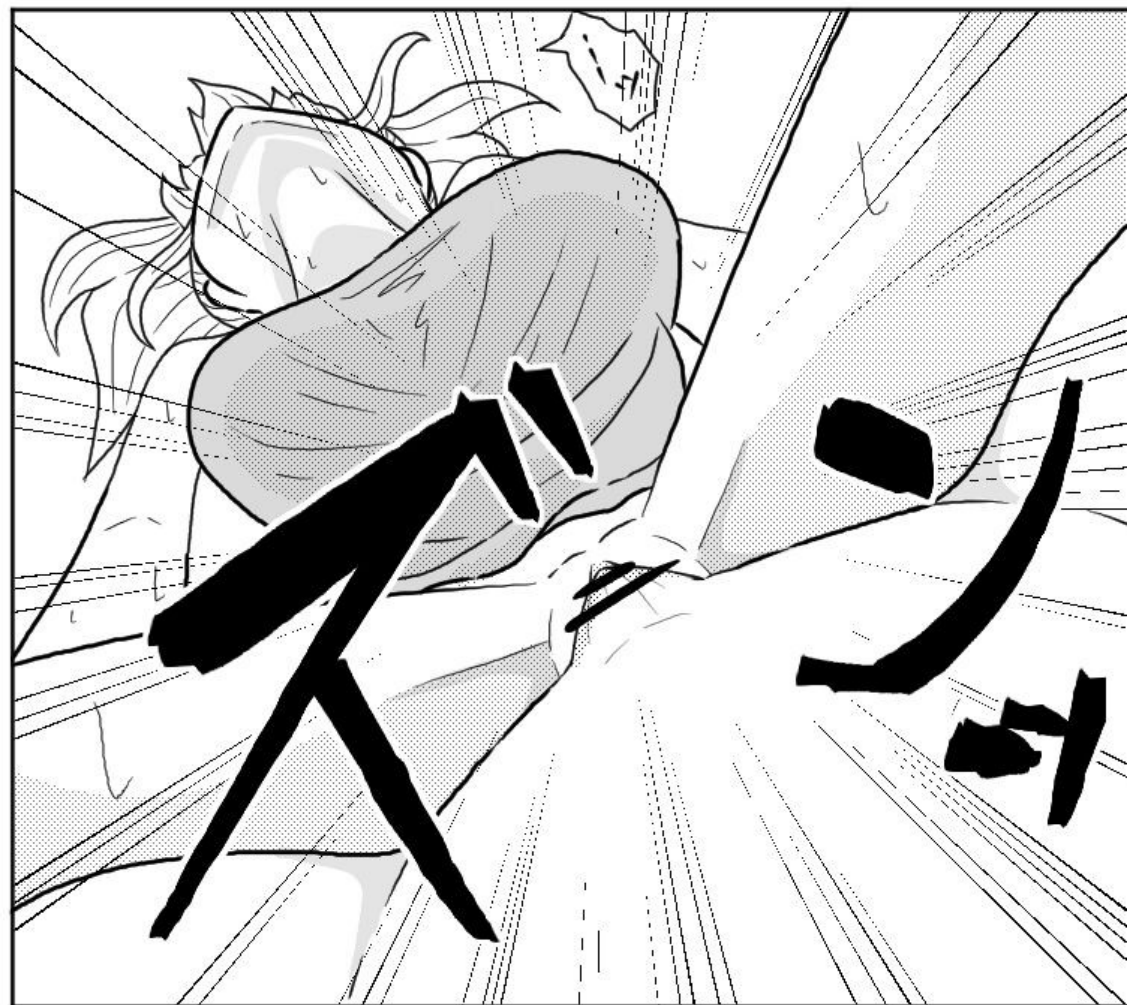
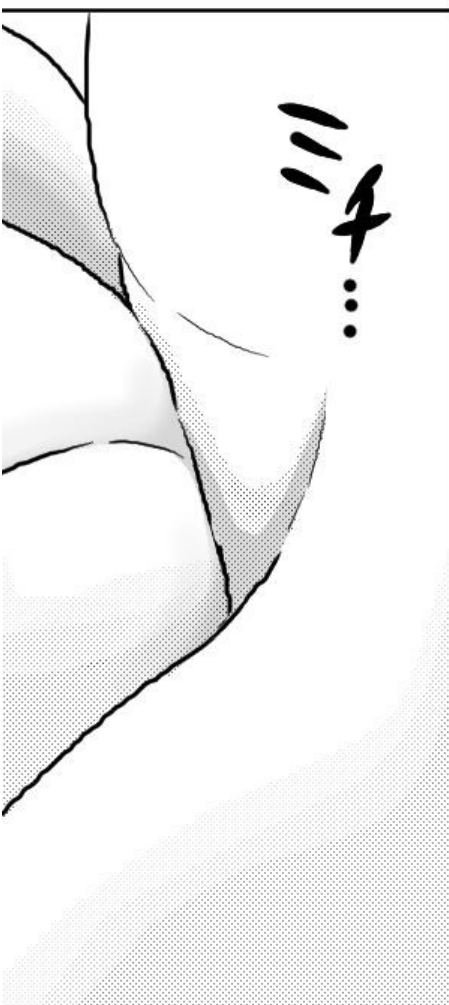
カナに—
触れるな—ッ!!









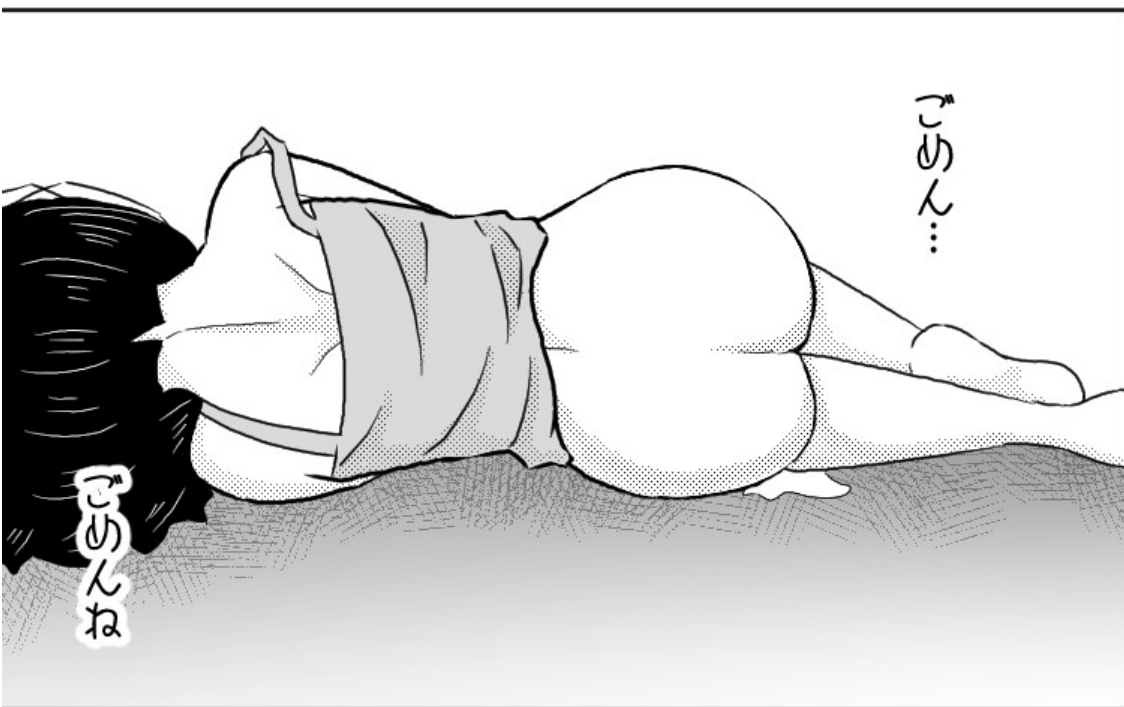




痛い…っ

こいつ…っ

あたしのこと玩具みたい…っ
おもちゃ



ごめん…

ごめんね



カナ…



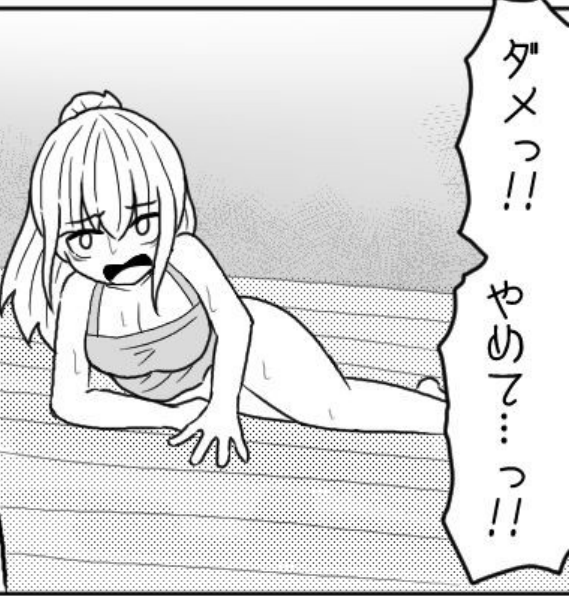
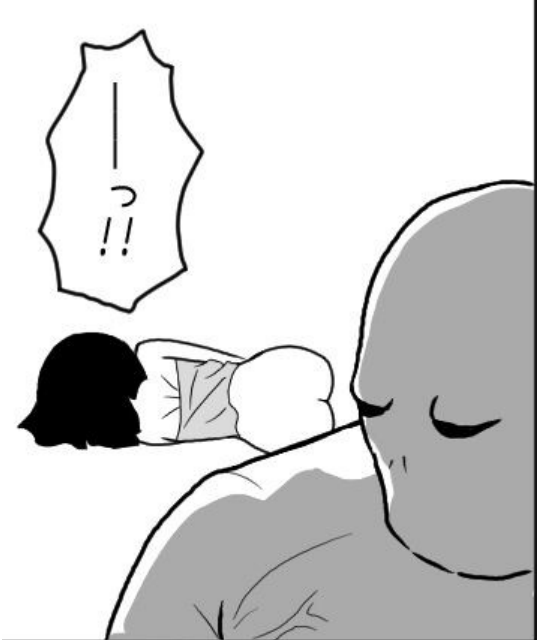
あたしが素直にお爺ちゃんの
言いつけ守ってれば…

あたしよりずっと
体が小さいカナだったら

もっと痛くて

怖かったよね…



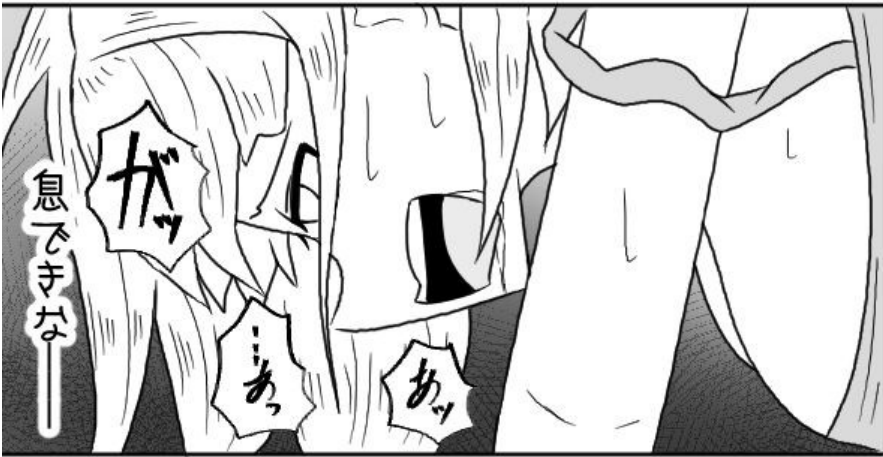




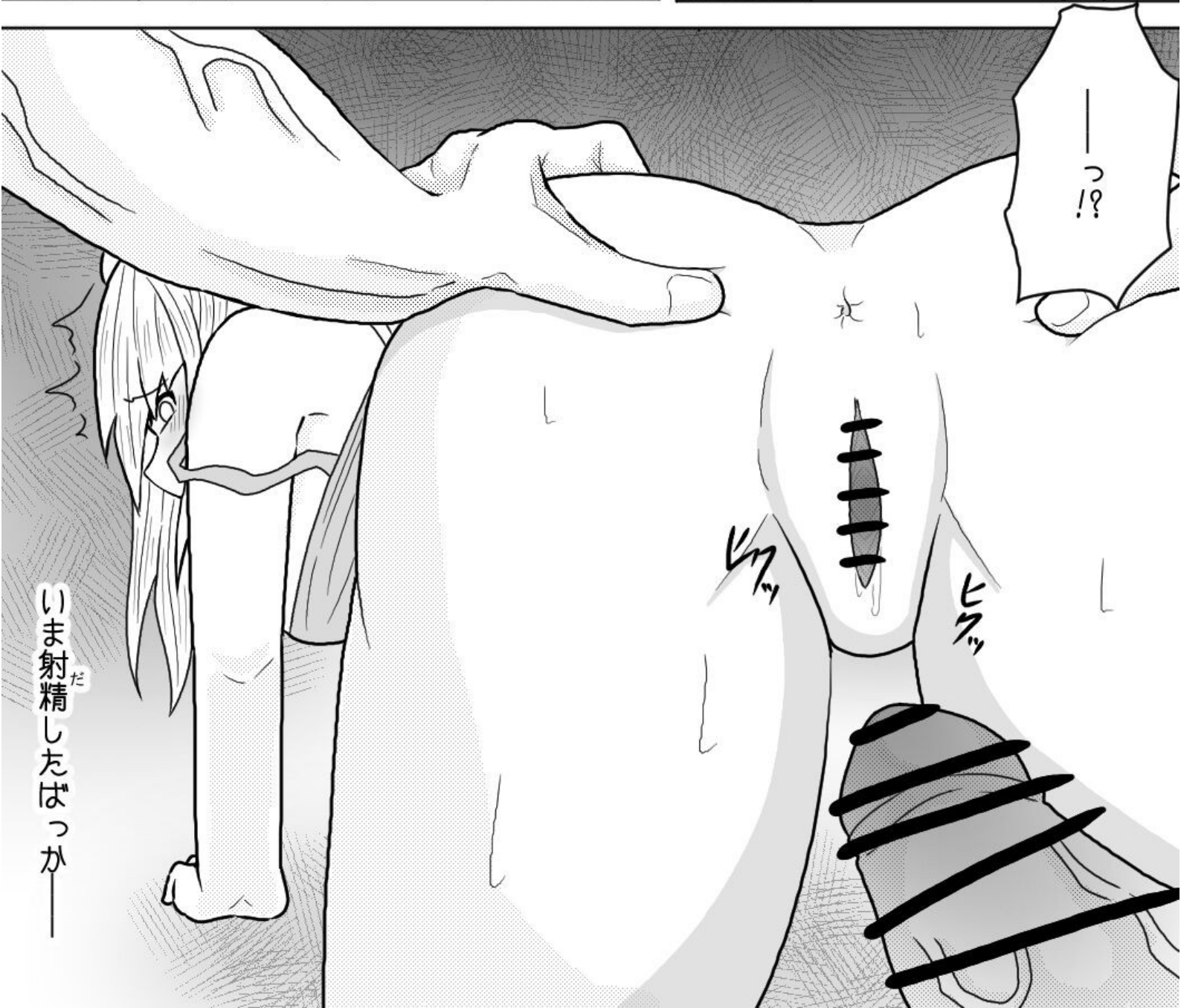




喉に絡みついて



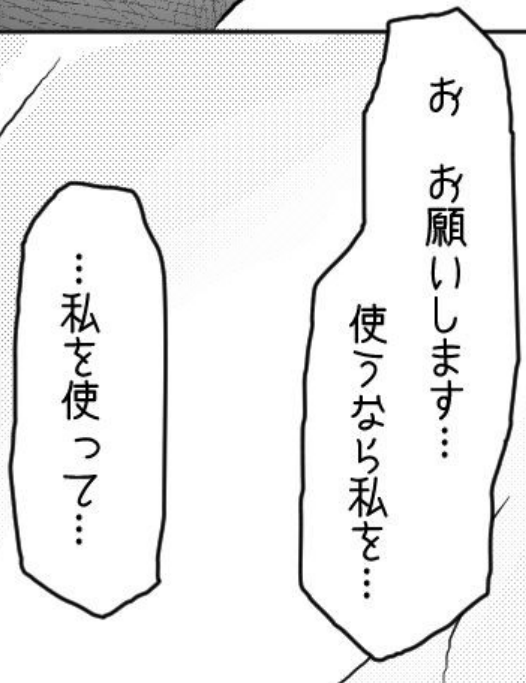
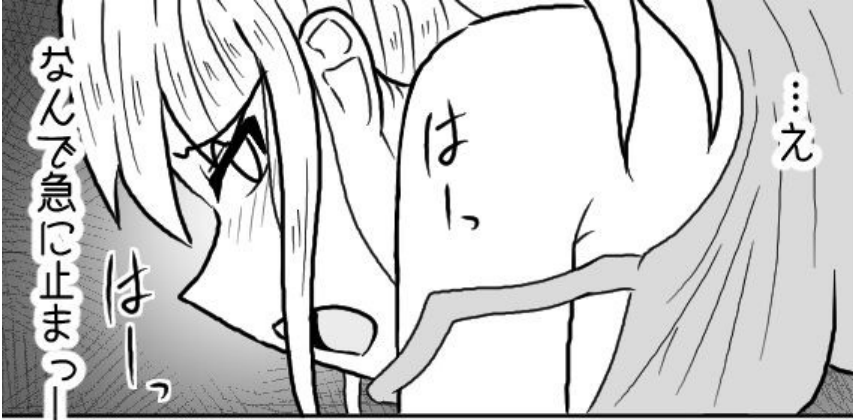
息できな



っ!
!

いま射精したばっか







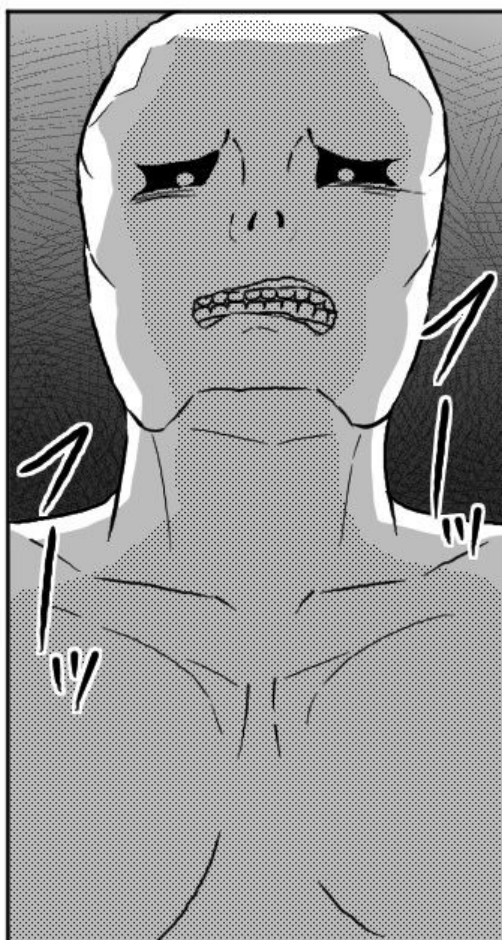
き
気持ちよくしてあげるから…っ

ほ
ほら…っ
こっぴうの気持ちいいんでしょ？



お
大人しくなった…？

これで時間を稼いで





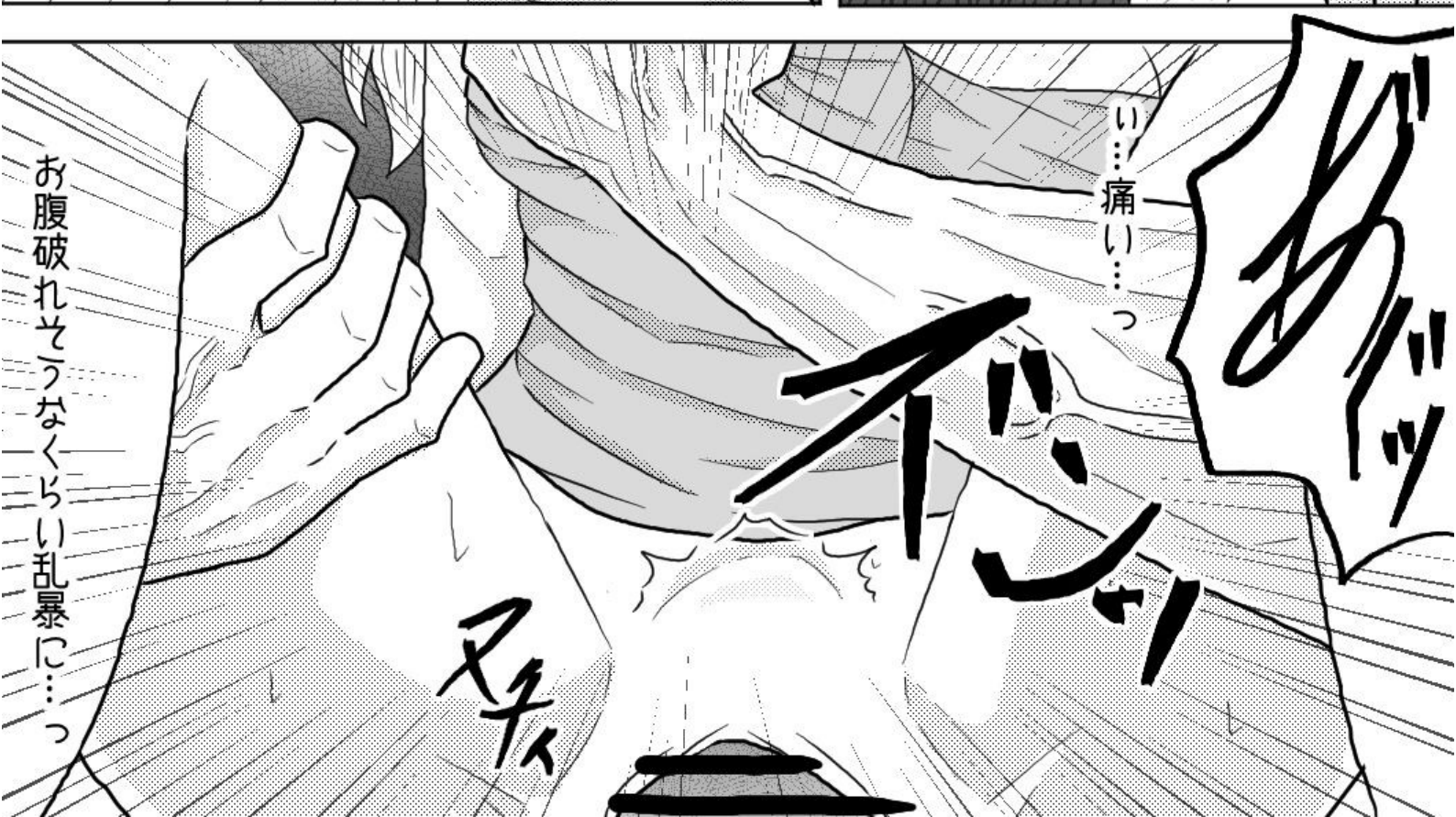
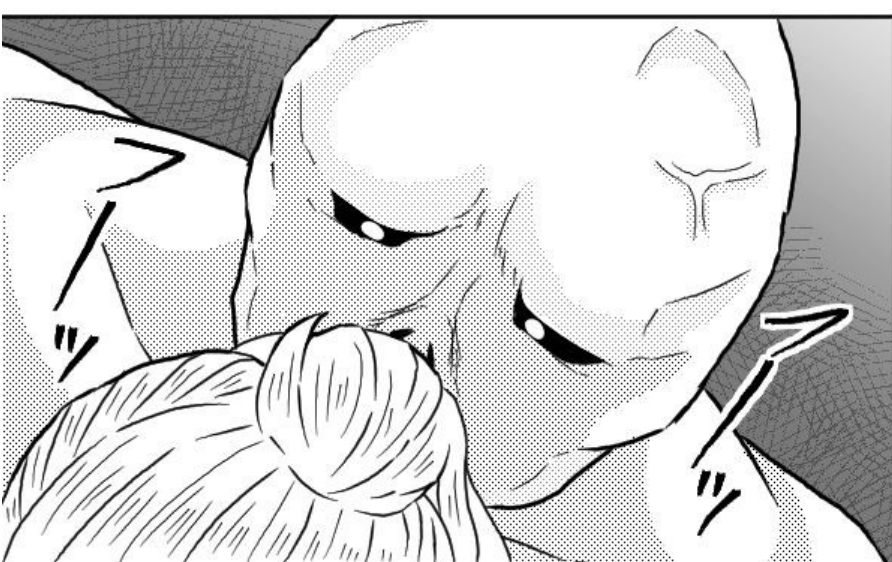


あ……

あ……あ……

子宮の……

入口まで入り込んで……



い……痛い……

お腹破れそうなくらい乱暴に……

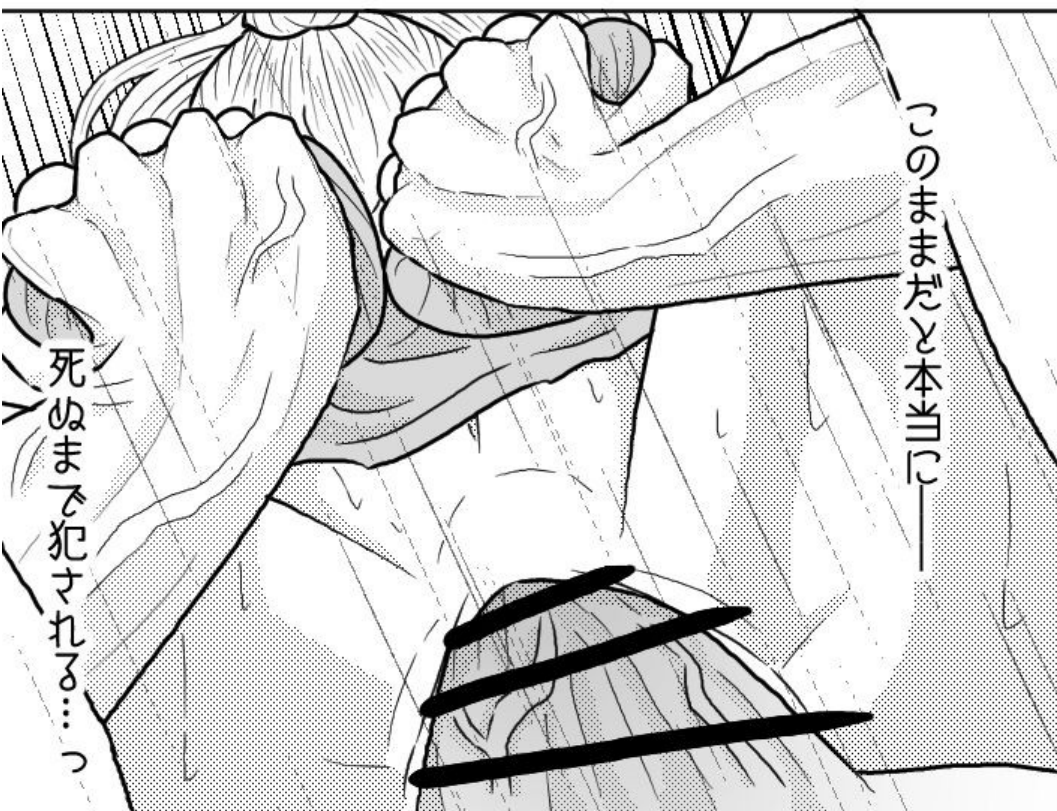


一突き

一突きが重い……

こんな子宮が

壊されちゃう……



このままだと本当に――

死ぬまで犯される……



しかも全然衰える気配がない

三

三



でも力強すぎて
抵抗できない……

痛みと快楽がぐちゃまぜで
何もわからない……

もう何回

射精されたのかも――

